

海洋学とは？_2 What is Oceanography?

日本人にとって『海洋学(Oceanography)』という言葉は、聞いた事があっても、具体的に説明して下さいと言われると返答に困るようで、その実態を垣間見ましょう。以下の文章は、海洋学のイメージを『はじめて学ぶ海洋学』の受講生に質問した回答群です。

これらの記述を読むと、日本人にとって『海洋学』があまり馴染みのない言葉であることが如実に表れています。更に、欧米の教科書における海洋学の説明 ([別紙参照](#)) とはかなりかけ離れた、悪い意味での日本独自の偏ったイメージ形成がなされています。海洋国家日本のグローバル化を目指すなら、『海洋学』本来のイメージを多くの方が理解している方が国際的軋轢を生じないのではないのでしょうか。

設問：“海洋学に対するイメージが、『はじめて学ぶ海洋学』を受講する以前と以後ではどのように変わりましたか？”

回答（所属学部）（注）原文のまま転記しているため、誤字や脱字、または言い回し等に不適切な部分が存在します。

- * この講義を受講する以前は、海洋学と聞くと何となく魚や海の生物を連想して、海中の生態系に関する内容を主に扱う学問なのかと思っていました。しかし実際には、そのような内容はほんの一部であり、海底の地形だったり海流の流れの理屈、海水の塩分について、あるいは海洋汚染など、様々な観点から海洋について考察していく学問でした。この講義を受講し終えて、私は海とは本当に奥が深いものだと思いますし、私達が普通に親しみを感じている海は、実はそう単純なものではなく、すごいものなんだと驚きました。この講義を通じて私は海洋学に興味を持ったので、今後、日々のニュースなどで海洋学に関連する内容があれば積極的に見るようにして、これからも機会があれば海のメカニズムについての知識を増やしていけたらと思います。（検査・女性）
- * 私は本講義を受講する前までは、海洋学というと海で起こる現象についてだけ学ぶ学問だと思っていました。しかし、本講義を受けてから海洋学は生物学や物理学、化学や地学、あらゆる学問の知識を踏まえた上で、海の現象」の仕組みを様々な面から理解する学問だと言うことを実感しました。そして学んでいくうちに、生活の周りの現象と海が大きくかかわっていることを知り、海洋学を学ぶことは自分の周りの環境について理解することだと言うイメージに変わりました。特に興味深かったのは、台風などの気象現象と海の関係についてです。天気予報でよく聞く低気圧や高気圧、放射冷却などについて理解することができ、海による現象が自分の身の回りに直結していることを改めて実感しました。本講義は自分の海に対する考え方を変えるきっかけになりました。利益だけを追い求めて海と付きあっていくのではなく、海といかに上手く付き合っていくかが大切で、それが海を理解することだと思いました。（検査・女性）
- * 講義を受講する前と後で、私の海洋学に対するイメージは大きく変わった。講義を受講する前は、漠

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

然と、海洋学は海の生き物や地形についての学問だと言うイメージを持っていた。しかし、講義を受講してみて、海洋学はたきにわたっており、様々な学問に通じていると思った。ただ、海の中での出来事だけに留まらず、地球全体のことについて学ぶことが出来る学問であると感じた。実際、講義を受講することによって、海に関することはもちろん、人類の歴史、起源についてや、地球の環境問題についても学ぶことが出来た。そして、今地球がどのような状況にあるのかを学び、自分の生活を見直すきっかけともなった。だから、私は、もっと深く海洋学を学びたいと思ったし、今まで海洋学を学んだことの無い沢山の人達にも、学んでみることをお薦めしたい。(検査・女性)

- * 私はこの講義を受講する前、海に囲まれている日本に住みながらも、なぜ海水が塩辛いのかなどを疑問に持つことも無く、海洋学についてあまり興味がありませんでした。海洋学とは、海で起こる現象や魚に関する事など、海に限定して探求する学問だと思っており、深い海の底で新生物を発見したり、様々な生物の生態を調査しているというイメージが強くありました。また、「海洋学」と聞くと壮大で私にかかわる事ではないと思っていました。しかし、講義では、海洋に関わる歴史や人類とのかわり、海洋・大気・太陽の相互作用、海洋生物・海洋汚染など幅広く学び、海洋学とは海のみを扱う学問ではなく、地球全体を扱う環境学的なイメージに変わり、人類のルーツであったり、身近に感じられるものになりました。(検査・女性)
- * この講義を受ける前までは、海洋学がどのような学問なのか良く分かっておらず、海洋学に対して、あまり私たちの生活とはかわりが無く、難しそうだというイメージを持っていた。しかし、この講義を受けてみると、はじめて見聞きするような事項ももちろん出てきたが、私たちに良くなじみのあるようなことも詳しく、普段とは違うような視点から学ぶことが出来、海洋学は面白いと思った。私が最も興味深く思ったことは、温室効果ガスは地球の温度を保つのに無くてはならない存在であるということである。温室効果ガスは、地球温暖化の原因だとよく言われており、あまり良いイメージを持っていなかった。しかしこの講義で、計算上では地球の放射平衡温度は -18°C であるが、実際の平均気温は 15°C であり、この温度を保っているのは、温室効果ガスのおかげでもあるということを知り、少しイメージが変わった。海洋学を学んだことで、私たちの暮らすこの地球の様々な仕組みについて知ることができ、海洋学は重要な学問だと感じた。(検査・女性)
- * この講義を受講したことにより、海洋学に対するイメージは大きく変わった。受講する前は、海洋学と言うと、海にいる生物や海洋資源、潮の流れなど、海のことだけを学ぶ学問である、という印象があった。しかし、講義を受けてみると、大気循環や宇宙、人類が誕生してからの歴史など、まったく海とは関係なさそうに思えることを勉強する場面が多々あり、これは本当に海洋学なのか、と疑問に思うことがあった。しかし、後から実は、これらの勉強が海で起こる様々な事象を説明するためのものだったということが分かり、海洋学とは色々な分野の知識を必要とする総合的な学問だ、ということを感じ、イメージが変わった。(検査・女性)
- * この講義を受けるまでは、海洋学と聞けば海水のこととそこに住む生物についての学問という勝手な

詳しくは [『はじめて学ぶ海洋学』横瀬久芳 著 朝倉書店](#)
yokose@sci.kumamoto-u.ac.jp

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

イメージがあった。しかし、この講義を受講するようになって、海洋学とは海の生物はもちろんのこと、海底火山のこと、大気循環のこと、地球の誕生からその歴史についてなど様々な分野が複雑に絡み合った学問なのだと思います。私が特に驚いたことは、大気循環と海洋の関係である。太陽光によって暖められた熱帯地域の海は大量の水蒸気を発生させ、活発な上昇気流が発生しないと亜熱帯地域との間の気圧差により、大規模な大気循環セルであるハドレー循環を生み出している。風と海がこんなにも密接に関係しているとは、と驚きだった。これだけに留まらず海は地球環境の動力源といっても過言ではない。海の偉大さを今ひしひしと感じている。(検査・女性)

- * 私は、海洋学という学問について勘違いをしていました。私はこの講義を受けるまでは、海洋学とは海に住む生物や海のどの地域どのような資源が手に入るか？を調査するような海にだけ着目する学問であると思っていました。しかし、実際はそうではなく寧ろ化学や生物学や物理学といった様々な学問の知識を融合した一番科学らしい学問であるということに気がつきました。例えば、海流の循環についての説明をするだけでも、地球にはコリオリの力が働いていることや、暖かい空気は冷たい空気に向かって流れる等のような一見海とは無関係な知識も必要となります。このような幅広い知識を知らなければいけないという部分が海洋学を学ぶ上で重要なことであると同時に面白くて魅力を感じる部分だと思います。そういう面に関して言えば、医学とは逆の性質だと感じます。私が在籍する医学部とは、人間の身体が学問対象です。人体の仕組みを頭に叩き込むことが最低ラインです。しかし、海洋学は多くの学問の知識が頭に入っていなければ話になりません。私は、毎週の講義を通して、広い視野を持つことが必要な海洋学にどんどん魅了されました。(検査・女性)
- * 私は、この講義を受けるまで海洋学とは難しい専門用語が飛び交う学問で、長い時間をかけて学習しないと全然理解できない、私とは関わりの無いものだと思っていました。しかし、この講義を受けたことでそのようなイメージは一変しました。まず、専門用語は多用されているがまったく理解できないということは無いのだと知った。また、私とも十分に関わりのある問題を取り扱っていることにも気付いた。代表例は、海に浮かぶごみ問題である。みんなの共通の資源である海に浮かぶゴミには、私達が意図せず道の端に落としたりしたゴミが含まれている。私達の何気ない生活が海洋の問題を引き起こしているのである。この講義を通して、海洋学と私達には無視できない関係があると思い直した。今では、海洋学を難しいものだと避けることはせず、理解を続けたいと考えている。(検査・女性)
- * この講義を受講する以前は海洋とはただ単に私たちが遊びに行く海や魚を取るための場所で生活に必要なのだなあという認識でした。しかし、この講義を受講して私の認識はとても浅く、私と同じような認識の日本人が多いため、日本には海に囲まれた国であるにも関わらず、海への関心・認識が低いのだと実感しました。一言で海とは何かと説明できないほど海洋学は深く、また豊富な知識が必要であるということが分かりました。一番驚いたのは、授業中に流された映像です。私たちが出すゴミが最終的に海まで流れつき、その量が島と同じくらいになると知った時は信じられませんでした。私たちがこの講義を受けてもまだまだ知識は浅いと思います。しかし、海洋学に対しての関心はかなり高まったと感じています。(看護・女性)

詳しくは [『はじめて学ぶ海洋学』横瀬久芳 著 朝倉書店](#)
yokose@sci.kumamoto-u.ac.jp

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私は、海洋学というと魚の研究などの安易な発想しか思い浮かばず、あまり具体的に何を学ぶか良く分からないなと思っていた。しかし、この講義を受講してみると海は地学的、化学的、生物的、物理的要素がかなり合って、そして関わり合って、存在しているのだと分かったと、海洋学というのは狭い領域にくくられておらず、研究のしがいのあるわくわくさせる学問だと思うようになってきた。確かに、専門的な知識は、海洋学に触れたことの無い私にとって難しく、説明されたことのイメージが上手に膨らまないこともあった。しかし、教科書を読み進めて行くと、地球の自然現象には無駄の無いこと、そして私たちの暮らしと密接に関係していることが良く分かり、海洋学への興味が回を重ねるごとにどんどん膨らんでいった。講義は終わってしまったが、これを契機に海洋学にもっと触れたい。
(看護・女性)
- * 本講義を受講する以前は、海洋学といえば、海・海の生き物・魚・深海魚という風に、海に関する単語を思い浮かべていた。そのため誰でも知っていることだ、と簡単なイメージを持っていた。本講義では、海はなぜ青いのか、なぜ塩辛いのか、台風の発生メカニズムなど、身近な問題でありながら、今まで知ろうとしなかったことを解説することが出来た。そして、海洋学は身近な問題を扱うものの、光の波長などの専門的知識を交えながら、様々な分野の組み合わせが必要な、難しいものであるというイメージが変わった。しかし、これはそういうことだったのかと分かる瞬間を存分に与えてくれる学問だとも思った。(看護・女性)
- * 私は、本講義を受講する以前は、海洋学と聞いて、主に海洋に生息している生物、深海魚などについて学ぶ、割と単純な学問だろうと思っていましたが、受講後では、生物学、物理学、化学、地学など様々な要素が絡み合って成立した非常に奥が深い学問であるという考えに変わりました。そして、今こうして学んでいる「海洋系」という大きなシステムは、はるか昔から自然と体系付けられてきたものだということを知って世界の壮大さを感じ、非常に感銘を受けた。(看護・女性)
- * 私が今回の講義を受講して最も変わったと思う海洋学のイメージは海洋学を学ぶことの重要性である。この講義を受講する前は、私は海洋学という学問は単に海に生息する生き物たちについて詳しく学んでいくものだと思っていた。しかし、実際に講義を受けてみると、海洋学とは生物学や地学、歴史学など、その他沢山の分野を総合し、広い視点から海を理解する学問であるということが分かった。海洋学は小学校や中学校、高校では特に取り扱われることも無かったために、生きていくうえで必要な学問ではないだろうと思っていた部分が確かにあった。しかし、講義を受けて初めて知る、海の危機的な状況に、なぜこの歳になるまで海洋学に触れることなく過ごして来てしまったのかと感ずるようになった。講義を受ける前の私のように、海を本当の意味で理解できていない人間が多数いるからこそ、この重大さが分からずに生みの状態がますます悪化していくのだと思う。私は、海洋学は重要性の高い学問であり、なるべく多くの人が海洋学に触れる機会を持つべきだと考えるようになった。
(看護・女性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私は、この講義を受講するまでは海洋学とは海の謎を解き明かすための学問であり、私たちの日常には大きく関わることの無い分野だと思っていた。受講を決めたのも、海洋学に特別興味を抱いていたわけではなく、単純に面白そうだったことがきっかけであった。しかし、講義を通して、海洋における深刻なゴミ問題や、人間が海洋生物の生態にあたえているあくえいきょうなどという身近な問題を知り、海洋学は私たちの生活に密接に関わり合っており、学ぶべき学問であると感じるようになった。また、海底に眠る資源や気候変動のメカニズムなどが解明され、人類に利益をもたらす期待を担っている学問であると感じた。講義を受けたことで、海の神秘に更なる興味を抱くようになった。今後も海洋に関するニュースなどに注目していきたい。(看護・女性)
- * 私はこの講義を受講するとき、自分の出身地である長崎県は海に囲まれており馴染みがあったのと海が好きなのでもっと海のことを知ってみたいと思い受講しようと考えました。以前の私は、海洋学というと海の中の生物や海の出来方などを学習するのだろうか、なんだか楽しそうだと思っていました。私にとっての海はきれいで穏やかな心を和ませるような場所なので、海洋学も気楽に学べて楽しそうだというイメージでした。しかし、講義を受講していくうちに、海洋はとても広く人間の活動や環境に大きく影響していることを知りました。受講する以前の気楽で楽しいイメージとは程遠く、海洋学を学ぶことは地球環境を学ぶことととても大切な学問だと分かりました。海洋学は学ぶにつれて色々な理解が生まれていき、理解していく中で楽しさを見つけられるのだと感じるようになりました。(看護・女性)
- * 私は最初、海洋学と聞いて深海魚などの生態を解明したり、海的环境を調べたりするだけというイメージがあった。また、少し内容が難しく、専門的過ぎるのではないかと思っていた。授業を受けていく中で、海洋学は歴史、大気、生物など様々なことに関与していることが分かった。酸素があるのも、海の中でシアノバクテリアが増え、海中の飽和した酸素が大気中にまで放出したことによってであったり、滋賀線を強く受けずに地表に私たちが生きられるのもその酸素が、オゾン層を作ったことによってであったりと、海という存在が無ければ、私たちはもしかすると地球に存在していなかったのではないかと思う。今では、海洋学というのは、奥が深く、私たちに恩恵を与えてくれ、面白い知識が沢山詰まっているというイメージで、それと同時に、海を大切にしなければならないと、以前よりも増して思わせてくれるようになった。(看護・女性)
- * 私は、海洋学は主に海の生物について研究をしているのだと思っていた。しかし、講義で地形の性質、そして陸の生物についてなど様々な分野について学んだ。海洋学はふくざつであり海洋だけではなく気候や生物、世界の歴史など広い知識が必要な難しい分野だと感じた。海を知るためには海だけではなく、それと関わる減少のすべてを研究しなければならない。海洋学は海だけでなく地球全体を学ぶことが出来る学問なのだと考える。そしてもっとたくさんのが解き明かされるのが楽しみである。(看護・女性)
- * 私は、講義を受講する以前は海洋学に対して、海洋の生物や海底の資源などに地手学ぶ学問であると

詳しくは [『はじめて学ぶ海洋学』横瀬久芳 著 朝倉書店](#)
yokose@sci.kumamoto-u.ac.jp

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

というイメージを持っていましたが、地球のエネルギーや台風に関する内容についても学ぶというイメージは無く、また私自身とは何の関係もないことのように思っていました。しかし、講義を受講して、私たち人間の行動が海洋のかんきょうをはかいることにもつながるということなどをしり、海洋と私たち人間は密接な関係にあるということが分かりました。十数回の講義を経て、海洋学はとても身近な学問であり、更に人類の発生のような地球規模のことまで学べるすばらしい学問であると思うようになりました。これからも、学び続けて理解を深めて生きたいと思います。(看護・女性)

- * 私は、海洋学について最初はとても難しく、専門的な人にしかわからないだろうと思っていました。しかし、横瀬先生の話はとてもおもしろく、授業内容でもスライドや動画などがあったためとても分かりやすかったです。私の祖父の家は天草で、家のすぐ近くに海があります。今まで海はなぜ青いのか、どんな生物が生きているのかなどの疑問に思うことが多くありましたが、今回の授業で少しは知識が増えたと思います。海洋学研究者が少なくなって来ている今、貴重な授業を受けることが出来てよかったです。(看護・女性)
- * 私はこの講義を受けて、海洋の奥深さに一番驚きを受けました。いぜんは、海洋学とは、海に生息する生物の生態を調査・研究する学問だと思っていました。しかし、この講義を受けていくにつれて、自分は今まで海というものを表面的にしか見ていなかったということが分かってきた。海は人間とは比べ物にならないほどの歴史があり、今まで気にしていなかった現象も全てきちんとした過程の上で起こっているということを知った。例えば、波である。私たちは海を眺めると普通に波を見ることができるが、この波も元々は世界のどこかで風浪が発生することから始まり、うねりとなって海岸に到達しているのだ。このように身近な現象の裏を学び、海洋学は単なる海の生物だけを調べる学問なのではなく、地球のありとあらゆる気候の変化や現象とも結びついている海洋の奥深さ恩恵を知るためにあるのではないかと思った。(看護・女性)
- * 私は本講義を受講して、海洋学という学問の対して持つイメージが変わりました。大変失礼で書くことがはばかれるのですが、本講義を受講する前は「海洋学」といえば、海洋生物の生態を調べるだけの楽しそうな学問というイメージでした。楽しそう、というイメージは受講後も変わっていません。ただ海洋学の扱うテーマが海洋生物はもちろん、海流や海洋資源、水の惑星である地球全体の環境まで多岐に渡ることを知りました。横瀬先生のなされた貴重な調査の様子も拝見でき、その大変さもわずかながら感じることが出来たと私は考えています。本講義を受講して、私が海洋学に対して持つイメージは、海洋の仕組みを理解することによって、身近なものから地球規模のテーマまで様々なものを、他の学問とは違った視点で解き明かしていく学問であるというイメージです。(看護・女性)
- * 本講義を受講する以前は、海洋学に対して、ただ漠然と海について研究している学問としか思っていなくて、魚とか海洋生物専門家というくらいにしか思っていませんでした。しかし、本講義を受けてみて、海洋学は実地調査なども頻繁に行い、海洋全体の動向を観察し考察する学問なのだと分かりま

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

した。その分野はとても広く深く、海洋と大気循環という大きなスケールの研究があるかと思うと、広い海からウナギの産卵場所という小さな点を探す研究があったり、はたまた自ら深海に赴いたり、ととても楽しい講義でした。この講義を受けて、もっと海を大事にしなくてはと思うようになりました。(医・女性)

- * 本講義を受講する以前は、海洋学は海中の生物や現象に関する学問だと思っていました。しかし、本講義では深海や潮流のことだけでなく、台風の出来方といった気象学や人類がどのようにして日本列島に渡ってきたのかといった日本史まで幅広く学ぶことが出来ました。また温暖化やオゾン層の破壊などの環境問題は以前から知っていましたが、海洋汚染や海洋資源のひどい現状については本講義を受けるまで認識したことがありませんでした。海に囲まれた日本人としてこれは恥ずかしいことですし、海洋環境の改善になる事は少しでもしようという気持ちになりました。ラパ・ヌイ島の悲劇から地球の最悪のシナリオを予測することが出来ました。ですが、私たち人間の行動や心構え一つでこの最悪のシナリオを回避することが出来るかもしれません。海洋学は地球が誕生した過去から現在、そして未来のことについてまで考える学問だと思います。(医・女性)
- * 講義を受ける前までは、海洋学と聞くと海の生物や組成について学ぶ学問だと考えていた。しかし、講義を全て受けてみると、海洋学は海だけにとどまらず、地球規模での天候の変化や我々人間の生活にまで大きく影響を与えている学問なのだということが分かった。海が「母なる海」と呼ばれる理由を理解できたように思う。興味深かったのは太平洋に浮かぶゴミの大陸の回であった。ゴミの大陸にも驚いたが、それ以上にあの水俣病の原因となった水銀が今も魚の体内に濃縮され、人間の生活を脅かしつつあるということだ。妊婦ならば、健康によさげな魚を多く食べそうなものだし、自分もこの講義を受けるまではそう思っていた。この事実こそ、メディアや報道機関によって大きく報じられるべきだと強く思う。日本だけでなく世界の将来がかかっている。海洋学の講義を受けて、メディアの報道内容の偏りも痛感できた。これからは真偽を見極め、一方的に流されない姿勢も大事だと感じた。(医・女性)
- * 海洋学の講義を受講する前は、海洋学にイメージすら持っていませんでした。というのも、海洋学という学問があることを知らず、海について真剣に考えたことが無かったからです。初めの講義で、日本では海洋学は学校教育で教えられていないから日本人は海洋学に疎い、と聞いて、自分のような人がほとんどであることを知りましたが、回を重ねるにつれて、「このように国民の海に対する関心が薄いままでは、海だけではなく、私たちの生活環境が危ない」と考えるようになりました。なぜなら、海洋学を通じて学んだ、今起こっている地球環境の問題は、どれも送球に解決すべき、または取り掛かるべき問題ばかりだと思ったからです。例えば、プラスチックゴミの問題です。海に漂うプラスチックゴミの誤飲で直接、生物が命を落としてしまったり、プラスチックゴミに付着した有害物質が生体濃縮して、間接的に私たち人の健康に害を及ぼしたりしています。ただでさえ、大洋からプラスチックゴミを除く、という物理的解決の難しい問題であるのに、プラスチックゴミは増え続けている現状です。仮に取り除くのは無理であっても、出来るだけ現状維持するように努力すべきです。もっと

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

国際的に大きく取り上げられて良い問題だと思います。私は、海洋学の講義を受講したことで、海洋学は、地球環境を守っていくためには学ぶべき重要な学問だというイメージを持ちました。もっと多くの人に海洋学に関心を持ってもらうために、学んだことを少しでも周りの人に共有したいです。

(医・女性)

- * 受講前の海洋学のイメージは海の環境問題についての学問なのかなというぼんやりとしたものしかありませんでした。しかし受講後は環境問題についてだけでなく、もっと多面的で多岐にわたる内容を学ぶ学問なのだということが分かりました。台風や海流などの既に少し学んだことのある内容はより理解を深める事ができました。また、海水の塩分、ウナギや深海魚の話など未知の内容は特に興味深く授業を受けていて楽しかったです。私にとっての海洋学が、難しそうな学問からおもしろい学問という認識に講義を受けて変わりました (医・女性)
- * 私は今とてもこの講義をとってよかったと思っています、この講義を受ける前は、そもそも海洋学という学問の存在するしっかりと知っていなかったし、まして海洋学がこんなにも総合的な知識を要する重要な学問であることを知りませんでした。横瀬先生の講義を聞いてからは、気候、資源、国同士の意地の張り合い、ウナギの卵など様々な分野が海洋学に結びついていることを理解しました。結果的にいかに海洋学が我々にとって、地球環境にとって重要な学問であるか学びました。このような教育の場を設けてくださり本当にありがとうございました。まさに「無知の知」を思い知らされるとともに、教育というものがいかに大切かということをも身を持って知りました。(医・男性)
- * 私は、海洋学を受講する前は、海洋学とは海の生物や海洋の環境に関して研究をしている学問だと考えていました。しかし、受講してみると、その海洋学の範囲の広さを知り、様々な学問分野をつなぐ、博識学的学問なのだということが分かりました。また、科学技術の発展に伴って日々の生活でされ、それぞれが分離して関連のないように感じ、世界がつながって影響しあっている事を考える想像力が欠けている現代の中で、海というものを通して事象の関連、私達人間の生活と自然のつながりに気付かせてくれる重要で、極めて今の時代に必要な学問であるという認識になりました。(薬・女性)
- * 私は、この海洋学の講義を受講する以前は、海洋学という文字通り海に関する学問だというイメージでした。海といえば生息している魚類であったり、水そのもの水質や海底の地質について学ぶものという印象が強かったと思います。しかし、本講義を受講することで、海洋学というものに私が持っているイメージよりもずっと大きなスケールでの学問であると分かりました。特に私が海洋学で学ぶとは思ってなかったのは待大気中のことも細かく学ぶということで、放射冷却や赤外線放射の内容や、台風など風の内容を関係するのでであると学べました。本講義では、日常生活で感じられる身近なことから、身近ではほとんど感じる事の無い地球規模のことまで、受講以前に学ぶと考えていた量よりもずっと多くのことを学べてよかったです。(医・男性)
- * 私はこの海洋学の授業を受けるまで、海洋学は自分とは遠いところの話で、あまり関係が無いものだ

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

と思っていました。友人に誘われて最初の授業に来ましたが、「海のことを学ぶ」程度にしか考えておらず、これといったイメージも無かったように思います。しいて言えば、深海魚が一番楽しみでした。しかし、授業を受けてみると、海洋学とはただ海についてだけを学ぶものではなく、思っていたよりもずっと身近で自分にも関係があるものでした。計算や難しいことは完全には理解できなかったけど、知識の幅が広がりました。私は文系で主に言語についての授業を選択していましたが、思い切ったまったく別の分野の講義を聴いてよかったです。小中学校で学んだことがより深く理解できたし、とても良い経験になりました。やはり、深海魚の授業が一番わくわくしました。海洋学のイメージは私の中では、専門的なことは難しいけれど、地球の仕組みを学ぶものというものです。海流の出来方、空気の動き方、今まで考えたこともほとんど無かったけど、「こうなっていたのか！」と納得するものも多く、良かったです。(文・女性)

- * 自身が文系専攻していることもあって、理系色の強い海洋学に対しては、なんとなく距離を感じ、その詳しい内実についても実際には知り得ないでいた。そのため海洋のメカニズムやそこで形成されている生態系、深刻化している海洋を取り巻く環境問題にたいしても無知であった。しかし、横瀬先生のこの授業を通して海洋に関する様々な事象を楽しく学んでいくにつれて、海洋学とは自分が思っていたよりもずっと奥が深く、おもしろい学問だと気付くことができました。一口に海洋学といっても、その内容は様々で何を研究対象とするかによってその名称も大きく異なり、海洋生物学、海洋地理学、海洋物理学などそれぞれの分野に分かれていることが分かった。また、私たちの住む地球の大半を占めている海洋に関して研究する海洋学は地球科学的視点から見て非常に重要な学問であることが分かった。特に海洋における多様な生物層を守っていくためには、海洋学的知識は欠かせないと感じた。深刻化する環境問題の根底には海洋に関する知識や、関心の欠如があり、更なる環境問題を防ぐためにも海の理解者を増やすことは非常に重要なことであると考えた。横瀬先生のすばらしい授業と指南のおかげで以前よりもはるかに海洋学に対して興味を持つことが出来るようになり、強く感謝の念を感じている。新聞や文献を読んでも、海洋に関する記事などに対して関心を持って読めるようになり、自分の世界が広がったように思う。この授業を通じて得ることの出来た学びをこれから自己で高めて行き、海に対する理解を更に深めていこうと思う。(文・女性)
- * 私はこの講義を受ける以前、海洋学を自分とは関係の無いものとしてとらえていた。しかし、むしろ、私が今の環境で生活し続けるために学ばなければならない、生活に密接に関わる学問であると、この講義を通じて考えるようになった。現在の人間の生活は、海洋があることによって起こりうる大気循環や海洋がもたらす資源など、海の恩恵の上に成り立っている。しかし、人間の利益のために海洋の生物資源や物理的資源を採り続けることで、生態系の破壊や水産資源の枯渇を招いている。更に身近なところでは、ポイ捨てという行為が積もって、太平洋のゴミベルトなどを作り上げてしまっている。海洋学でこれらのことを学ぶことによって、自分の今の生活のあり方、行動を見直す必要性を感じた。この講義を通して、以前は自分にとって遠い存在であった海洋学を、人間が地球で生活していくうえで必要な学問であり、今の自分の行動を考え直すきっかけとなるものにとらえるようになった。(文・女性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私は海洋学に対して、最初は、海洋の生物の調査や海底探査をする楽しそうな学問だというイメージを抱いていた。今回海洋学を受講するまで、「海洋学」といった学問を知らなかったの、具体的なイメージをつかめなかったのだ。しかし、受講してから海洋学のイメージが更に良くなった。海洋学は海だけではなく、天文学や歴史学といった一見関連のなさそうな学問とも関連しており、海洋に関する様々な視点から考えることが出来て、海洋学の面白さを垣間見たように思う。私の海洋学に対する印象を最初に変えたのは太陽放射と赤外放射と海の関係について授業で学んだときである。地球の放熱において、潜熱をもった水蒸気が大気中でその潜熱を運動エネルギーを熱エネルギーに替え、宇宙に放熱する。その水蒸気の大部分は海から来ているものだと知り、海には創造もしなかったような働きをしていることに興味を持ち、海洋学をより深く学びたいと感じた。海洋学の講義を受講してから、受講する前とは海洋学について深い関心を得られた。これからも自分自身で海洋について知識を増やしていきたい。(文・女性)
- * 私はこの講義を受けて、講義を受ける前に海洋学に対して抱いていた「海に特化して学ぶ学問」というイメージが「地球上の自然現象について幅広く学ぶ学問」というイメージに変化した。海洋学を学ぶ、と言うと、海洋の起源や海洋生物について学ぶのだろうと想像してこの講義を受講した。しかし実際に講義を受けてみると、講義では、海に関する事象だけに限らず、海流に影響を及ぼす大気循環や、それに影響を及ぼす太陽光など、かなり幅広く、地球上で起こる自然現象について学ぶことが出来たように思う。全14回の講義を通して、地球上の自然現象について理解することで、海だけを」学ぶだけでは感じ得なかった、「地球が危機的状況にある」と言う重大なメッセージを受け取ることが出来た。(文・女性)
- * 講義を受けるまでは、海洋学と聞いても具体的に何の学問なのかすぐにイメージがわかなかった。漠然と海水や海底地形のことを研究する学問ではないかと思っていたが、想像以上に様々な分野があった。また、地球上で起こる現象には、海と関係し手いるものも多いことを知った。講義の中で一番印象に残ったのは、人間による海洋汚染の項目である。人間が捨てたゴミで海の生き物たちが被害を受けていること、その実態に衝撃を受けた。人間は海から多くの恵みを受けているにもかかわらず、その恩を仇で返しているように思える。講義を通して海の現状を知ったことで自分たちの利己的な行動はいずれ自分たちの首を絞めることになることを、海洋学の視点で常に意識しようと思うようになった。(文・女性)
- * 私は本講義を受講し、海の置かれている立場の危うさを強く感じました。それまで海は遊びに行くところという認識しかなかった上、テレビのニュースなどで海の汚染について話などがあっても特に関心を覚えずどこか他人事のように捉えていました。また、この講義を選択する際にも海洋学と言う名前の面白さに惹かれただけでした。しかし、海についての基礎知識を学び、汚染問題や生態系の問題に触れたことで現在の海の状況について知ることになりました。ゴミのポイ捨てやウナギの数の大幅な減少など私たちの生活に関わる身近な問題が取り上げられたことでいやでも現実に向き合

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

なければならぬのだなあと痛感しました。今まで流したり見てみぬ振りしていた事項をそのままにしておけないのだとこの講義を受講していく中で理解しました。ゴミの太平洋ベルトについて知らなくても海岸に多量のプラスチックや発泡スチロールが打ち上げられていること、つまり海には大量のゴミが漂っていると言うことは誰にでも目に見えて分かることです。ゴミを間違えて食べて亡くなる動物たち、体にロープが巻きつき動けなくなる動物たちの写真も見ました。プラスチックゴミは海で自然に発生はしません。これは人災です。海に対して、環境に対して無関心な人間が引き起こした災厄です。海洋学を学び、現状を知ると無関心であると言うこととの恐ろしさを知ることが出来たように感じます。海洋学を良く分からない、知らない学問、必要なか不明だと思うのではなく、一人一人が海洋学を学び知識を手に入れて海に関心を持つことで環境は良いものへとになっていくのではないのでしょうか。(文・女性)

- * この講義を受講する以前は、私は海洋学に対して、海の生き物の研究をするものとか海の不思議を解明するものと言うようなあいまいなイメージしか抱いていませんでした。しかし、この講義を受講したことによって、海洋学に対する認識がガラリと変わりました。海洋学は、堅い学問ではなく私たちの生活に密接に関わっている学問なのだと言われ、講義を受け終わった今なら分かります。食事やゴミ捨てなど日常生活も海洋学の視点から考えることが出来ると知ったことは、とても貴重な体験です。宇宙船地球号の一員として、そして「海の理解者」として地球環境問題と向き合うために、海洋学は大きな意味を持つ学問だと感じます。私は、海洋学を最も注目されるべき学問の一つであり、もっと多くの人が学ぶべき学問であると思います。(文・女性)
- * 本講義を受講する以前は、海洋学と言うのは、生命と資源に溢れた海洋のメカニズムと内部での事象などを探求していく学問なのだろうと言う曖昧なイメージを持っていた。勝手なイメージではあるが、「母なる海」と称される神秘的な海洋を探求するということは、とてもロマンを感じさせるものでもあった。講義を受講して、それまでのイメージ通りだったという部分もあったが、一番大きく変わったのは、海洋に対する考え方についてだった。海洋学は、海洋を探求する学問ではあったが、それと同時に海洋の現状を知り、その上で海洋を守るための学問でもあったと言うことが良く分かった。海洋の壮大さからか、海は人の行為などに左右されず、泰然と存在するような印象があった。しかしそうではなく、海も自然の一部であり、人が汚せば汚れていき、自然浄化だけでは元に戻る事が出来ないことも多くあるのだということを、一連の講義によって改めて気付かされた。特にそれを強く感じたのは、プラスチックゴミの生物に対する脅威を聞いた際だった。広く雄大な海をもってしても、人間の生み出した害を浄化しきることはできないと言うことを知り、海は「母」であると同時に、守るべきものであると言うことを理解することが出来た。海を知り、そして守っていくためにも、海洋学はこれからも必要な学問であると思う。(文・女性)
- * 私は本講義を受講する前は、海洋学は海に関する現象、例えば海洋生物や海流などだけを研究する学問だと思っていました。しかし、受講して、そのイメージが大きく変わりました。海洋学は海に関する現象だけではなく、そこから発展して法律や世界情勢、歴史などあらゆる分野の研究対象であるこ

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

とが理解できました。例えば、講義の中で、私たちが使うことの出来る水と言うものは、地球全体の水から見るとかなり限られていることを学びました。そこから、水を求めて、戦争が発生するというメカニズムを理解しました。水に恵まれた日本で育ったため、水ほしさに争いが起きるということに以前はあまり理解できていませんでした。しかし、講義を受けて、どんなに水が大切かを理解できました。海洋現象の研究だけではなく、そこから様々な事象についてまで発展していく学問が海洋学なのだとの認識が変わりました。(文・女性)

- * 私の海洋学に対するイメージは、この講義を受講後大いに変わった。この講義を受講する以前は、海洋学に対し手ほとんど無知式であっただけでなく、海の資源は無限的なもので様々な利用できるという、人間本位で身勝手な考えを持っていた。しかし、この講義を受講して、太陽や大気、風、大陸、人間のルーツや地球自体など、様々なものが海とつながりがあることが理解できた。そしてその理解で、現在の人間の海の利用に対して、多くの問題意識をもち危機感を感じるようになった。海についての研究・開発が進み、自然の仕組みが解明される一方で、海に対する人間の介入や破壊は著しい。それらを食い止め、人間の身勝手な行動は慎むべきであると思うようになった。私たち自身も人間と言う動物であるため、自然の一部として、限りある海の資源を大切にし、守っていく必要があると感じた。私の海洋学に対するイメージは、自己中心的なものから、問題意識を持ち未来へとつなげていこうという意思を持ったものになったと考える。(文・女性)
- * 私は、海洋学について以前は、海の魚や海流などについての学問だと思っていました。しかし、講義を受けてみて、そのイメージは変わりました。海洋学がもつ分野は私が思っていたよりも、ずっと広がったのです。あるときは、風の流れから、あるときは海底の地形からと、地球の事についても詳しくなくてはなりません。海洋学の今のイメージは、海に関するありとあらゆる学問の総合的学問になりました。海洋学を以前より、ずっと奥深いものとして感じるできるようになりました。また、海は今まで自分が思っていた折もずっと危険な状況にあることも知れました。思っているよりもずっと時間は残されていないと感じました。この講義を通して、真の海の理解者になれたのは、私にとってとても大きな収穫です。(文・男性)
- * 私はこの講義を受ける以前は、海の事情なんてまったくと言ってよいほど知らず、どちらかと言えばあまり興味がないというような状態でした。それは普段の生活の中で直接海に関わるものがほとんどないからです。しかし、海洋学の講義を受けていくと食生活や生命の起源など、直接的な関係はなくても誰もが海とつながりをたくさん持っていることを知りました。同時に今、海で起こっている諸問題についても考えさせられました。海の環境を守ることは私たちの生活を守ることにもなるのだと思います。そして海の環境を守るためにはまず、以前の私のような無知の人々に海のことについて知ってもらうことが必要なのだと思います。この講義を受けて良かったです。(文・女性)
- * 講義を受講する前は、海は自分の生活とはあまり関係がないと思っていました。しかし講義を受講して、海と大気存在によって地球の気温が放射平衡温度よりも高くなって、生物がすごしやすい温度

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

になっていることや、日本周辺の海にはたくさんの資源があることを学び、海の重要性が改めて分かりました。特に深海については何も知らなかったのが、実際の映像や潰れたカップ麺の容器などを見て深海について興味を持つことが出来ました。海洋国に住んでいる国民として、これからも海について知識を深めていきたいと思いました。(文・女性)

- * この講義を受講するまでは、海洋学は完全なる理系分野であり、海洋生物や資源について研究していく学問だと思っていた。そのため、この講義を受けても私の学問分野とは相容れないものだろうと思い込んでいました。しかし、実際の海洋学は様々な学問分野を網羅しているものであると分かった。ある一つの事象を、文理を問わずに多角的に捉えるものであると知ったとき、とても興味を抱いた。私が所属する文学部で研究する対象にはなりえないだろうと思っていたが、捕鯨問題や尖閣諸島の問題なども海洋学で扱うとわかり身近な学問のように感じるようになった。(文・女性)
- * 私は本講義を受講する以前と以後で、海洋学に対するイメージがよりよいものへと変化した。本講義を受講する以前は、海洋学とは海洋生物の解剖や生態調査を行う学問であり、数学や物理などはほとんど用いられないと思っていた。そのため、他の理系分野の学問よりも海洋学のほうが分かりやすく、文系の私にも出来るだろうと考えていた。しかし、本講義を受講してこの考えは覆された。実際に海洋学を学んでみると、海洋学は数学や天文学、地理学などといった多種多様な学問の総体である事が分かった。また、捕鯨やウナギの減少、生体濃縮による健康被害などといった身近な諸問題と向き合うことが出来る学問であることを知った。これらの気付きによって、私は海洋学への興味がより一層増した。つまり、私は本講義を受講したことによって、とても有意義な時間を過ごすことが出来た。私は本講義を受講する以前よりも海洋学のことが好きになり、海洋学は面白い学問であるとよりよい印象を持つ異様になったのだ。(文・女性)
- * 私はこの講義を通してより海に対して興味を持つようになり、海洋学を学ぶ大切さを知りました。私がこの講義を受講する前は海について真剣に考えたことはなく、ただ漠然と暗くて恐くて未知の世界で無限に広がっているようなイメージを持っており、海洋学に対しても地学と同じようなものだろうと考えていました。しかし、この講義を受講して、今までに知らなかったというよりも知ろうとしていなかった深海魚の特徴や海洋資源の問題、海洋汚染、海水が塩辛い理由、台風のメカニズムと影響など、海洋に関する様々なことを学ぶことで、自分の無知な考えが改められ、もっと真剣に海について、自分たちの生活や日頃の行いについて、資源について考えなければならないと思うようになりました。海洋学は、海の現状を教えるとともに、なぜその事象が起こるのか、重要なのかを根拠を持って教えてくれる学問であるため、より身近に感じられます。「海の理解者」を増やすことを目的とした海洋学は非常に重要な意義を持つ学問であり、実生活に役立つ学問であると思いました。(文・男性)
- * 私はこの講義を受講して私にとって海洋学とは、40年後も今と変わらずに魚を食べ続けるための学問だと思った。受講前は「海洋学」と聞いて堅苦しく難しそうな印象を持っていた。しかし、受講し、

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

先生のお話を聞くにつれて、海洋学が少し身近なものになっていった。もちろんすべての内容を理解するには専門用語も多く難しい事もあったが、化学、物理学、地学、生物学の中学校と高校時代の知識を少しずつあわせることで理解できた内容も多かった。完璧に理解できなくても、少しでも海の現状や問題、特徴を知っている、わかるというところに、私たちが海洋学を学んだ意味があるのではないかと思う。微力ながらも海の理解者であり続けたいと私が思った一番の理由は、2050年食卓に当たり前のように魚が出てくる未来がよいと思ったことである。難しい内容や用語はこの先忘れてしまっても「魚が食べたい」という気持ちは忘れる事はない。海洋学とは私にとって、ずっと魚を食べ続けるために日常生活の中に少しでも海について考え行動するための学問であると考えている。(教育・女性)

- * 私は本講義を受講するまでは、海洋学に堅苦しいなというイメージをもっており、専門家の人たちだけが勉強する学問だと思っていた。しかし、この講義を受けて、誰もが学べる学問なのだとわかった。むしろ、「学べる」というより「学ばなければならない」学問であると感じた。現在、絶滅寸前の海洋生物の問題や海洋汚染の問題、地球温暖化など様々な問題が生じている。けれども、海洋に関する知識がなければ解決策を考えられない上に、海洋問題に興味すらもでない。実際私も以前は知識が浅かったため、単純に海は好きだったが、底にある課題にまで目が向いていなかった。海に囲まれて生活している私たちは海についてもっと知って置くべきであると思うし、海を大切にすべきだと思う。大好きな海がこの講義を受けてもっと好きになれたので良かった。(教育・女性)
- * 私は、本講義を受講するまで、海洋学のイメージは良いものとあまり良くない物がありました。いいイメージとしては、海は広く、そして生物もたくさんいて秘密が多くて引き込まれるものです。良くないイメージとしては、海は暗くて怖い、そして難しそうだというものです。受講した今のイメージに、難しいというイメージはあります。しかしそれ以上に、自分の知らない事ばかりで知れば知るほど、もっと知りたいと思わせるものに変化していきました。しんかい 6500 に中川翔子が乗って深海探査をした事があるということや、塩辛い海水を作り出すのは河川であるということなどは、この講義を受講しなければ、知る事ができなかったことだろうし、知りたいとも思わなかったと思います。海に入ることはあまり好きではありませんが、海洋学には魅力が多く、地球を支えてくれている海について、もっとたくさんの事を知っていききたいと思います。(教育・女性)
- * 私は本講義を受講する前は海洋学は海へ調査し言ってシウ質検査をしているイメージはありましたが、それが世のためにどう役立つのかは全く分かりませんでした。しかし、本講義ではパワーポイントの説明以外にも先生が実際に海で調査している写真や映像を先生の詳しい解説付きで見ることによって海底にある火山の実態やプラスチックゴミによる生物の被害の現状など知る事ができました。また、魚もどんどん数を減らし、私たちが大人やおじいちゃん・おばあちゃんになる頃には食卓に魚が上がらなくなってしまうかもしれないという問題もこの講義ではじめて知りました。本講義を14回受けてみて、海洋学は今の海をより良くするにはどうすればいいかを訴えてくれているというイメージが新たに加わりました。(教育・女性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私は、この講義を受けるまで海洋学という言葉すらあまり聞いたことがなくて、海や海にいる生物についてだけを学ぶのだろうと想像していた。また、私は高校で生物を学んだが、海についてあまり詳しく学ばなかったので、知らないことばかりだったし、海洋学は難しそうというイメージを持っていたので不安があった。しかし、この講義を受けて誰もが感じた事のある身近な疑問について学び海洋学は生物学、物理学、地理学など多くの学問とつながっているということが分かり、とても面白いと感じた。また、海は無限の存在と思っていたけれど、やはり有限なものであり、小さな変化の積み重ねによって壊れてしまうと知り、これからも海への理解を深め、大切にしていこうと思った。(教育・女性)
- * 私は、本講義を受講する前は海洋学は海の事だけを研究する学問だと思っていました。しかし、違いました。海は地球のどの部分にも影響を与え、また受けています。そのため海洋についてだけでなく大気、地形、古代の人間の生活、生命の進化など様々なことを学習しました。プラスチックゴミのポイ捨ては一見、その街の捨てた場所だけを汚したように感じます。しかし実際はそのゴミが雨や風で川へと流れ、川から海に流れ、そして日本の海は世界の海へとゴミを運びます。私が一度捨てた事のある傘の柄のプラスチックゴミがもしかしてどこかの生物を殺したかもしれない、そう思うと私はなんて事をしてしまったのだろうと自分が恥ずかしくなりました。このように、海の世界を考える事は地球の世界を考える事になります。海洋学とは海について学ぶ学問でありながら、同時に地球について学ぶ学問であると言うことが本講義を受講する事でわかりました。(教育・女性)
- * 講義を受ける前は、海洋学は私たちの生活にとっても身近な海の話だから単純で分かり易いものだと思っていた。しかし、講義を受け終わった今、海洋学はかなり奥が深く、たったの15回の講義だけでは海洋学の表面的な部分しか学ぶことが出来なかったように感じる。海は、私たち日本人は特に身近な存在で、それなりに海の現象に浮いて知っていると思っていたけれど、海洋学を学べば学ぶほど自分の海に対する無知さに気付かされた。海が自然に起している現象によって私たちが住む地球の環境は保たれているということが分かって海の偉大さを感じたり、海の中で工夫を凝らしながら生活している生き物たちの話を聞いて海の神秘を感じたりする事ができた。そして、この講義では、実際に何度も海に出て様々な研究をされてきた横瀬先生のお話を直接聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。私が特に印象に残っているお話は、横瀬先生が海山の命名をされたという話である。海山に命名するだけでも様々な手続きが必要だという事をはじめ知って非常に興味深かった。(教育・女性)
- * 私は海洋学を学ぶ前は、海についての興味もあまりなく、どのような内容なのか良く分かっていませんでした。しかし海洋学について学んで、私たちの生活は海と密接に関わっていて、多くの恩恵を受けていることが分かりました。海が塩辛い理由や深海魚の形の特徴を学ぶことが出来て面白いと思ったので、海への興味を持つことが出来ました。また、海洋学について学んで私たちの暮らしの中で間でも便利なプラスチックは、海洋生物や鳥などに大きな影響があるという事を違う視点から知ることができました。私たちは海についての理解を深め、海を大切にしていこうと必要があると気付いま

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

した。(教育・女性)

- * 私は、この講義の第1回の日、授業を受けていません。他に受けた教養の科目があり、海洋学の講義は第2か第3希望だったからです。そして、他の教養が取れなくて半分落ち込みながらこの授業に来たのですが、今では受講して本当に良かったと思っています。今までは、自分とは程遠いものだと思っていた海の問題、資源の枯渇や海洋生物への影響が、私たち人間に深く関与しており、むしろ人間が悪化させていることが分かりました。これは本当に他人事ではないな、と強く思いました。また、今までの義務教育や高校の授業で学んだことなども、語句だけ知っていて意味は知らない、説明できない、といったように、いかに空っぽな知識であったかも、この講義で思い知らされました。知識って自分のものにして活用できなければ何の意味もないんですね。この講義では、大学に入って初めてと言っても良いくらい、「学んでいる」という事を実感しました。まさに教養を深める事ができ、自分にとってかなり大きなものを得られた、ためになる講義でした。ありがとうございました。(教育・女性)
- * 私は本講義を受講する前は、中学校や高校で海洋学についてほとんど学ぶ機会がなかったので、海洋についての知識があまりありませんでした。しかし、この講義を受講していくことで、生物の生命はエネルギー循環によって成り立つ事や、多くの海洋生物が陸上から排出されたゴミによって命を落としているという現状があるということなど今まで知らなかった発見が多くあり、海洋学についてもっと自分なりに調べてみたいなあと自然に思うようになりました。また、高校の頃勉強した生物や地理と関連する内容が講義中に出てきて、自分の持っていた知識とつなぎ合わせて理解できた場面もあり講義がとても充実したものとなりました。(教育・女性)
- * 私は海洋学について講義を受講するまではもっと単純で淡白なイメージを持っていた。海はなぜ塩辛いのか、海はなぜ青いのか、どんな魚がすんでいるのか、などの様な漠然とした事を学んでいくものだと思っていたので講義を受講して驚いた。幅広い分野を他分野の知識を活用しながら専門的に学んでいくという複雑な学問であったからである。もちろん海の塩分の高さ青色の意味なども海洋の知識の基礎として学んだが、その何れも海洋以外の知識も必要とされていた。海洋学は海の中だけで完結せず太陽や大気循環、さらには人為的なものも関係しているのだ。従って私は海洋学を通して簡単であると思うが地理や生物、物理などの分野も学ぶことが出来た。本講義を通して海洋学は海洋のことだけを学ぶ単純な学問でなく海洋学から様々な分野に渡り合える複雑で重要な学問だと理解する事ができた。(教育・女性)
- * 私は、本講義を受講する前、海洋学は多くの専門用語を用いて海洋の地形を説明するもの、海の生態系について詳しく調査するものというように難しいイメージを持っていた。しかし、実際に講義を受けてみて、今までに様々な教科で学んできたものの応用だったり、私に関心のある海洋環境の現状や汚染の原因など学べる機会があったりと興味が持て知りたいたいと思えるようなものばかりだった。また、地球の一周が約4万キロメートルである理由や九州人のルーツなど今まで疑問に思っていた事の解

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

決の手立てになった。そして、海洋学を学ぶことで地球の様々な現象や構造について理解しやすくなった。以上のことより、海洋学は、身近なものであり、あらゆる分野を学ぶ事ができるため、今後生きて行く上で必要な知識を身に付け発展していくことができるものだというイメージが変わった。本講義を受け、海の環境や生き物などについて今まで以上に学べる機会が出来てよかったと思う。(教育・女性)

- * 私の海洋学に対するイメージは、講義の受講前は、「海のこと」、「私には関係のない、その道の人たちだけのこと」とばかり思っていて、さほど興味もなかった。時が経つにつれて、自分の常識が打ち破られることに対するショックが、良い意味へと変わっていき、「何で！？、どうして?!」と、興奮したり、ゾクゾクする事が多くなってきた。その中でも特に、「深海魚」の講義。講義はとても楽しくて、私の知的興奮を高ぶらせるものだった。この海洋学の講義を通して、海洋学はもちろん、それ以外のもの大切さというものを、改めて学べたような気がする。(教育・男性)
- * 本講義を受講する以前は海洋学について私は海の中の生物、主に私たちが水族館で見たり、普段口にした生物などの生態を調べるというイメージでした。しかし、本講義を受講して、海にまつわるあらゆる事象について学ぶものであるというようにイメージが変りました。例えば、海がなぜ塩辛いのか、という疑問に対して、河川や大気循環が関係しているということが分かり、海の中だけではなく、外から影響も考えなくてはならない事が理解できました。また、プラスチックという海洋には関係なさそうなものでも人間が使い、ゴミが河川から流れ込むことによって魚に影響がでることが分かりました。(教育・男性)
- * 私は海洋学の講義を受けるまで、近くに海のある環境で育ったわけでもなく、海に行ったことも数回しかなかった為、海洋学とは私にはあまり関係のない分野だろうと思っていた。そのような海洋学の講義の中で私が特に興味を持った回がある。それは、人間よる海洋環境破壊をテーマとする講義である。私たちが生活の中で生み出したプラスチックゴミが細くなり海上に浮かび、大陸となっていると知った時は驚いた。また、それらを餌と勘違いして魚が食べ食物網を通して生体濃縮を受け、有害物質を含む魚が食卓に並ぶ危険な状況にあると知り、ゴミ問題が海を介して人間に戻ってきているのだと感じた。更にプラスチックはその多くが河川によってもたらされると知り、何故ポイ捨てがいけない事なのか倫理的な面だけではないと気付いた。この講義後、ゴミ出しの際にネットの外に置かれたゴミ袋をネットの中に入れるようになり、何故ゴミ出しに関して厳しく行われるのかわかるようになった。以上のように講義を受けて物事を以前に比べ少し広く考えるようになれた。(教育・女性)
- * 私は、この講義を受ける前まではあまり海について興味を持っていませんでした。水族館に行ってクラゲやペンギン、魚を見たり、ドキュメンタリー番組などのサンゴ礁のきれいな海を見たりするのは好きでした。しかし、海洋資源やどうして波ができるのか、台風はどのように発達して日本まで来るのか、などの疑問を持つことはありませんでした。この講義を受けて、海という場所は私の知っているような世界ではなく、とても壮大で私たちの暮らしを支えてくれていたり、これからの国際的な関

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

係にもつながったり、様々な方向で私たちと深く関わっているのだなと感じました。講義を受けて終わった今、先生の本をじっくり読んで海洋について知識を増やし、マスコミの情報だけにとらわれないうようにしたいと思いました。(教育・女性)

- * この講義を受講する以前は、学校で学んだ事の無い海洋学の知識などほとんど無く、自分とはあまりかわりの無い学問なのだろうと思っていた。私の海洋学に対するイメージは、海の生物や海底の調査などを行っているのだろうというものだった。しかしそれは、最初の講義で壊されることになった。海洋学は何も海に関するだけでなく、生物学、地質学、天文学、地理学など様々な分野の背景があるということが分かり、私たちにも身近なものなのだと思うようになった。しかし、その身近な海からたくさん恩恵を受けているにも関わらず、私たち人間はプラスチックなどのゴミで海洋を汚染している。私たちも一人一人がきちんとゴミを処理したり海岸の清掃活動を行ったりする事で、海洋環境の改善に貢献できると思った。この講義を受講して、もっと海に関心を持ち、海を大切にしていかなければならないと思うようになった。(教育・女性)
- * はじめて学ぶ海洋学を受講する以前は、そもそも海洋学という学問についてよく知らず、どの様なことを学ぶのか良く分かりませんでした。「海洋学」という名前からのイメージでは、海について学ぶ学問というイメージでした。この講義を受講して、先生のおっしゃる通り、日本人があまり学ばない海洋学は人間がこの自然界で生きて行く上で学ばなければならない重要な学問だと思いました。専門用語が全く馴染みのないものだったので難しい学問でしたが、様々な学問とつながりを持っており、海について学ぶということだけが海洋学ではない事を感じました。海洋学を学んでよかったですと思います。(教育・女性)
- * この講義を受ける前は海洋学って何となく堅苦しそうで聞いても分からない事が多いだろうというイメージでした。しかし1回目の講義で、高校で学習してきた地学の内容との類似点がたくさんあったのと、横瀬先生の笑いありかつ軽快なリズムの講義に非常に魅了され、海洋学を学ぶ事を決めました。講義前は水俣病のような水質汚染や生体濃縮が原因の病気はもうなくなったと思っていました。しかし今、海にはたくさんのゴミが浮かんでいて、そのほとんどが家庭から出たごみであり、海を人が汚しているせいで多くの生き物が苦しんでいる事を学びました。このゴミの影響は今でも気をつけないと被害にあう可能性があると感じ、衝撃でした。だから私たちの将来のために、また私たちの子供の世代のためにもゴミの分別から改めて見直さなければならぬと思いました。このように海洋学といっても私たちが少し目を向ければ見えてくることばかりで、堅苦しいものばかりではなく、とても身近な学問なのだなあというイメージに変わりました。(教育・女性)
- * 私は本講義を受ける前、海は自分にとって、泳いだり、魚が取れる場所という風にしか思っていませんでした。しかし、本講義を受講して、海は人間にも地球にも大事なものだということを再確認する事ができました。海からは資源を確保する事ができました。海からは資源を確保する事が出来たり、様々な生き物が進化しながら生存をしてきたり、地球の過程が分かたりするなど、海洋学はいろん

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

な事を学べて、不思議なことにたくさん出会うことができるものなんだと思いました。講義の中で人間が海を破壊していると言う事を学んだので、大切にしようと思う。(教育・男性)

- * 私はこの講義を受けるまでは、海洋学に対して魚や海の地形やながらなどについて研究する学問なのだろうという漠然なイメージしか持っていませんでした。しかし、講義を受けた今は、海洋学は海や魚のことだけではなく総合的に環境や歴史についてまでも学ぶことのできる学問であると思います。これから生きて行く上で私たちが直面する問題の地球温暖化による影響や魚の絶滅危機などに学ぶ機会を得ることが出来てよかったです。これらの問題に自分でより理解を深めて、自分の意見を持つと思います。(教育・男性)
- * 私自身海洋学のこの講義を受ける以前まではほぼ海洋学に関する知識は無知に等しいものだったので海洋学とはただの魚の生態などを調べるようなものかと思っていました。しかし、この釘を受けて海洋学はそんな単純なものではなく、海に関係する様々なこと、例えば海の中の循環に関して、海洋に関する歴史そして海の中の物質組成などとても深く海洋について学ぶものだと分かった。また、海洋学を学ぶ事で現状の海洋の状態を知ることができ、自分が今、どうすることが海洋のためになるかを知ることができる。そしてこれを今後自分が伝えていく立場となり海洋の守るためにできる事があると思いました。それ故、私は今後教師という立場になりたいと思っているのでそうなった時に生徒にこれを生かして教えることができればなと思いました。(教育・男性)
- * 本講義を受講する以前から「海」に対してはすごく興味がありましたし、「海洋学」という言葉を聞くだけで、「深海」や海の生物の事をイメージしてワクワクしていました。本講義では、そういった、私からすればワクワクするような内容もたくさん学ぶ事ができました。しかし、それだけではなく、海の厳しい現状や、我々人間がその環境をくずしているという事実を学ぶ事ができました。私にとっては、このことが一番の収穫でした。今では「海洋学」と聞けば、以前のようなワクワク感以外にも、使命感や責任感を感じるようになりました。私は教師を目指しています。将来、子供達の前に立ったときに、今回学んだことはもちろん、人間が海に対して行ってきた事や、これからどう向き会っていくべきかしっかりと伝えられるようになりたいです。半期でしたが、楽しく、重みのある講義をして頂きありがとうございました。(教育・男性)
- * 私は、本講義を受講するまで海洋学は自分にとって無縁ではなさそうだけどよくわからなそうだと思っていました。実際受けてみると、確かにすごく関係のある事項ばかりで、実体験としても体験できるものがとても多かったです。海が青い理由、塩辛い理由、ウナギが食べられなくなるかもしれないことなど、あれもこれも海洋学とつながっているものだと分かり楽しくなって来ました。また、同時に海を守っていくことが私たちの将来のために本当に大切だという事を改めて感じることもたくさんありました。環境にやさしく、という事を考えても、具体的に何がどうだからこれは環境に良い・悪い、と分かったのは海洋学のおかげでした。これからは常に海を大切にしていこうための助けとなるものだと思うようになりました。(教育・女性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私は本講義を受講する前、海洋学に対して自分とはあまり関わりのない難しい領域の学問というイメージを持っていた。しかし、そのイメージは変わった。本講義を受講してみて、自分にも関わりのあることがよく分かった。海洋学の中には、深刻化する海洋汚染など私たちと密接に関係することについても含まれていた。ただその事をあまり自分に身近で関係する事だと考えていなかったからだということに気付かされた。また、確かに難しい部分の話はあるがすべてが理解できないというわけでもなく面白い部分もあるということが分かった。その中でも特に深海についての話は面白く、興味がわくものであった。(教育・女性)
- * 正直、この講義を受講する前は海洋学の講義では魚や海の映像を見ることができるし、何となく面白そうだが、くらいにしか思っておらず、海洋学では何を学ぶのか、といったことすら漠然としていたが実際受講してみると、その内容の深さにとても驚いた。なぜなら海洋学には水産学、生物学、法学、地学、経済学、歴史学といった様々な専門分野における幅広い知識が要求されるからだ。その分野をすべて理解出来て初めて、海で発生する現象を理解する事が可能なのだと知った時、海洋学は高度な知識が必要であるが、その分、意義のあるものだと分かり、海洋学に対する意識が変わった。(教育・女性)
- * この講義を受講する前までは、正直なところ海には興味はなかったというのが本当のところであった。しかし、この講義を受けたことによって海への関心が高まったように思う。私は、天草の出身で家の近くに海もあり、幼い頃は魚釣りをしたり泳いだりしていた。当たり前のように海があったからこそ海については何も考えていなかったように思う。現代では海にゴミが捨ててあるといった不法投棄や海が汚れてきているといった問題がでてきている。私の生まれた故郷である天草の海を守るためにも、自分ができる事を考えてやって広めていきたい。(教育・女性)
- * この講義で海洋学を学ぶまでは、海洋学は専門的な事を扱うことが多くて自分たちの生活にはあまり関係のないことばかりだと思っていた。しかし、実際に学んでみると深海が暗闇なのは太陽の光を海水が吸収しているからであるといったように、誰もが疑問に思うようなことに対してきちんと説明できるようになった。また、台風は海面から立ち上がる水蒸気をエネルギーとしており、陸地には水蒸気がないために沖縄に上陸して、底から北上していくに従って勢力が弱くなるなど、一見海とは関係がないと思っていたようなことも深く学ぶ事ができた。他には、私たちが捨てているプラスチックゴミなどは、沈まないためとりなどが小魚と間違っって食べたりして毎年 100 万羽もの鳥が命を落とし足りしていることや、毎年 500~1300 万トンものプラスチックゴミが海に捨てられ続けていることなどどれほど私たちが海の環境を破壊しているか等が痛いほど分かった。このように、日常に密接に関わっていて役に立つ津事を多く学ぶ事ができたのでとても有意義な学問だと思ったし、多くの人が学ぶべきだと思った。(教育・男性)
- * 海洋学は、どうして海水が塩辛いのか、海が青い理由などといった素朴な疑問に対して答えが見つか

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

る科学的な学問だろうというイメージが講義以前では強かった。しかし、私が気になっていた海水が塩辛い理由については、河川等により何億年もかけてナトリウムが海にたまったからであるという。私の想像を超える年月がもたらした産物であることが分かった。他にも、風により海の表層が循環していたりと、すべての規模が大きく、想像を超えるものばかりであったのだ。しかしそれらを解き明かしたのは人間の努力であり、その点から人間の努力の成果が詰まった学問に思える。だから、講義以前からすると、海洋学のイメージは、海という果てしないものを研究対象にする点や、人間の努力によって発見が増える点から、ロマンに溢れ奥が深く、教養の 15 回程度では到底学び終えることのできない学問であるという風に変った。(教育・男性)

- * 私は今回海洋学についての講義を受講する前までは、海洋学について何も分かっておらず、海についての知識も人並みなものであった。しかし海洋学の講義を毎回受講していくうちに、少しずつではあったが海についての知識を深めていくことができ、今の海にはどのような問題が発生しているのかという事が考えられるようになったと同時に今の海が多くの問題を抱えているということに驚いた。私達の周りには魚や貝などの水産資源として、石油などの鉱物資源として海から得たものがたくさんある事に気付かされた。私達の子供達の代に現在のような海を残すためにも私達一人一人が海についてもっと深くまで知り、考えていかなければならないと思った。そのためにも海洋学というものには私達人間にとってとても大切なものである。(教育・男性)
- * 海洋学の講義を十数回受けてきて、小・中・高等学校で今まで学習してきたことの更に奥深く触れることができた。また、これまでのテストのために暗記するだけの勉強とは違い、実際的であり一つ一つの単語や現象について理論立てて順序よく学ぶ事ができた。今までは「黒潮」と、ただ単発で覚えていたものを、今は「太平洋に存在する亜熱帯循環の一部であり、同じ種のものとして赤道周辺の北赤道海流などがある」と、表すことができるようになった。海洋学で学んだ事はたくさんあるけど、横瀬教官のおっしゃった「地球を救う」人材になれるように日々の生活でできる事を見つきたい。(教育・男性)
- * 今回、この海洋学の講義を受講する事が決まった時は、正直あまり興味がわかなかった。なぜなら何を学ぶかという事が明確ではなかったからである。先生が仰っていたように私は学校教育で教えられていなかったため、かなり海洋学というものに疎かったのである。しかし、講義を受講し終えた現在、海洋学に対してのイメージというのは以前とはまるで異なり、最も感じた事は私達の生活と密接に結びついているということだ。以前は私達の生活とはまるで別物であると切り離して考えてしまっていたのである。講義が進むにつれて、私達の生活とのかかわりが増えているように感じた。例えば、陸上から排出されたい多くのゴミが海流に乗って堆積し海洋に年間 500~1300 万トンものプラスチックゴミが出されていることによる海洋環境の破壊などである。このように海洋学について学べば学ばほどもっと知りたくなるというような良い循環をもたらしてくれる。これからも生きていく中でこのような意識を持ち続けるようにしたいと思っている。(教育・男性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 私はこの授業を受ける前までは、海について知っていることは、海水はしょっぱいこと、魚や鉱物があることぐらいであった。そんな私であったので当然、海洋学もこれらの因果をただ明らかにしていく学問であると考えていた。しかし授業が進むにつれて、様々なトピックをなんとなくでは身に付けていくうちに、様々な事象がすべて物語のようにつながっていることに気が付いた。今の私は、海洋学とは海を学ぶ学問であるとは思っていない。海洋学は、人間の未来を創造していくための学問であると考えている。全ての事象に過去と未来の密接な関係があり、可能性に満ちた話題ばかりであった。海を知れば、人は地球とともに生きていけるのではないか。この考えが、海洋学を受講した後の海洋学及び海に対するイメージです。本当に有意義な時間をありがとうございました。(教育・男性)
- * 私は海洋学に対するイメージが本講義を受講する以前と以後では、大きく変わりました。海洋学をはじめて学ぶ前は、海洋学といっても今まで私が地理の授業で習ってきた事や、海の生物を学ぶもののかなと思っていました。しかし、この講義を受講していくにつれて、私の考えは浅はかであったことが分かり、私の海洋学に対するイメージは大きく変わっていききました。特に私が海洋学に対して大きくイメージが変わった所は、海洋環境について学んだ所です。私はここで海洋学は環境の事もしっかりと考えられている事を印象深く知りました。私はこの回の講義を受講して、海鳥やウミガメなどの様々な生態系の現状を知ることができたので、海洋環境を守るためにポイ捨てをしないなど、私ができることはしていこうという意識が高まりました。この他にも私の知らないことばかり知ることができ、海洋学に対する興味もわいています。私はこの講義を受けることによって海洋学の基本を学び、海洋学に対して少しは正しいイメージを持てたと思うのでこの講義を受けて満足しています(教育・女性)
- * この講義を受講する前の私は、海洋学についての具体的なイメージはわからず、海洋学を遠くのもののように感じました。実際に講義を受講してみると海の中の生物や地形、潮流だけではなく、気候や歴史学にも関係がある事を知り、感心しました。また、以前のテレビのドキュメンタリーで見たウナギの産卵、繁殖についてのテーマが取り上げられ、かつ、それに横瀬先生が関わっていたことを知り、驚きました。この講義を受講して、海洋学の自分達の生活に関係している部分がわかり、受講前より海洋学を身近に感じる事ができるようになりました。(教育・男性)
- * 私は海洋学という学問は自分にはほとんど関係のないものだと思っていた。しかし、実際にはかなり密接に私達に関係しているという印象に変った。その中でも、陸上で排出されたゴミが、海上で堆積しつつあるという問題はとても印象的であった。人間の出すゴミが、海を汚し生態系に悪影響を与える。プラスチックゴミを小魚と思い誤飲してしまい海鳥が命を落としてしまう例などが挙げられた。さらに人間にも食物網の過程を経て危機を及ぼす事が分かっている。このように1つの面から見ても海洋学は私達の生活に深く関わっている。子孫に健全な海を残すために、小さな事であっても自分のできる事を積み重ねていこうと思った。(教育・男性)
- * 私がこの講義を受講する前は、海洋学の事を海で生活する魚などの生物の特徴などについて学ぶものだと思っていました。しかし、実際に受講してみると、海で生活する生物のことだけでなく、海底火

詳しくは [『はじめて学ぶ海洋学』横瀬久芳 著 朝倉書店](#)
yokose@sci.kumamoto-u.ac.jp

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

山や漁業、地球についてなども扱っていて、海に関連する事すべてを総合的に学ぶものでありました。だから、この講義を受講する前と比べて、より多くの事象が重なり合うことで現在の海が成り立っていて、海洋学はその全てをひっくるめて学ぶものであるのだと思うようになりました。(教育・男性)

- * 海洋学という分野について、今まで私は理系科目への漠然とした苦手意識を持っていたので詳しく知ろうと考えたこともなかった。今回この講義を受講してみて思ったことは、知らないから面白くなっただけであって、自分なりに理解して知る事ができたなら面白かったということだ。特に私はウナギが好きであるのでウナギの話があった回と、普段から食していたり、いとこが釣り好きであることもあって身近な話題であった魚についての回は特に前向きに取り組むことができた。魚についても深海魚という魚がいてそのなりたちがあって、と知れば知るほど奥が深いことに驚いた。これからは海洋学をもっと身近なものとして捉えることができるので嬉しい (教育・女性)
- * 自分の考えていた昔の海洋学のイメージは、難しい文字がたくさんで計算式によって事実を証明するといったものでした。自分はそのような難しい話が理解できるかどうか、またそんな大変な計算についていけるかととても心配でした。しかし、横瀬先生の授業はそんな自分でも理解ができるような分かりやすいものでした。プリントと分かりやすい教科書だけでも十分分かりましたが、特に横瀬先生の話が分かり易く、海洋学に対してそこまで興味のなかった自分もとても興味を持って、とても意味ある講義だったと思います。この講義で学んだ知識をこれからも最大限に活用していきたいと思います。(教育・男性)
- * 私はこの講義を受講する前、海洋学という学問分野が存在する事さえ詳しく知らなかった。ただ漠然として海のことやそこに住む生物の事を学ぶものだとしか考えていなかった。しかし、いざ学んでみると、地形や太陽、台風のことや環境の事など、様々な海以外についての事を知る事ができた。思うに海洋学とは、単純に海だけのことではなく、物事をいろいろな角度から見て考える力を必要としている。それは私たちが今まで学んできた社会や理科という教科の垣根を越えて、地理的思考や生物学的思考が混ざった学問だからだと感じた。そして実際に受講してみて、海洋環境の破壊が進んでいる事や私たちが十分な教育を受けてきていないと分かり、この学問を広く皆に教えていく必要があると感じた。私たちが学ぶべき学問に精通する指導者として横瀬先生にはこれからも幅広く授業をしてもらいたいと思った。(教育・女性)
- * 初めに結から述べると私は海洋学に対するイメージは大きく変わった。まず、私が受講して1番驚いたことは「海洋」という範囲を超えているということだ。私は深海魚や水質、起源等を学ぶものだと思っていた。しかし、実際は地球における自転によるコリオリ力や地球が太陽から受けるエネルギーの恩恵について学んだ。そしてこれらは全て海洋へとつながっている。日本の海洋学者は分野で細かく分かれており、研究が進みにくい状況にあり、海洋学は広い知識と視野が必要であると言う事を知った。次に海洋学の複雑さに驚いた。(教育・男性)

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

- * 今まで海に対してきれいだな、広いなというイメージしか持っていませんでしたが、この講義を受け、海には様々な問題や現象、そして私たちにくれる恩恵について知ることができました。特に印象に残っていることはウナギです。日本で親しまれているウナギですが、卵を採取するのにあれほどの努力と時間が費やされていることも知りました。また、海が塩辛いには白のせいではないことも分かりました。海は私たちに生命というかけがえのないものを与え続けてくれますが、私たちはその偉大な海をどれほど汚しているのかという事も分かりました。一見きれいな海で様々な問題が隠されており、このことに向き合っていかなければならないと思いました。私たちの便利な生活の裏で、海の生きもの達を死に追いやっているという現状を改めて認識することができました。海は当たり前存在しているのではなく、貴重な資源であると海洋学を学びそう思いました。(法学・女性)
- * 本講義を受講する前までは、海洋学は海について研究する学問として、漠然として、しかとらえておらず、具体的にどのような事を研究しているのか、また、その成果にはどのようなものがあるのかなどはあまり考えたことがなかった。しかし、本講義を受講してみて身近に感じていた海について、自分は実はほとんど何も知らなかったのだなという事を感じました。毎回の講義で学ぶ海はとても新鮮で面白かったです。特に印象に残っているのは、海水の塩辛さの話です。子供の時から疑問を持っていたのですが本当に理由を知れてよかったです。(法学・女性)
- * 講義を受講する以前は、私にとって海洋学は自分の生活とあまり結びつかないところで深海魚等の研究をやっている、マニアックな分野というイメージだった。しかし、実際に学んでみると、それとは全く違う事が分かった。まず第一に、海の中の特定の物について研究するのではなく、生物や気候、地形に資源といった様々な要素を持つ海の全てを研究する学問である、ということだ。先に記したように、マニアックなイメージを持っていた私にとって驚きだった。第2に、この分野が、自分を含めた人間生活の影響を大きく受けているということ。人間が陸地で行った活動の結果、例えばゴミの投棄が最終的には海に集約されていくことは、今まで知らなかった。人と海は強く結びついている、という言葉は小学校からずっと教わっていたことだったが、それは全て食料としての海、または工業に破壊される海であった。それ故、個人が海とつながる、という事が驚くべきことに感じられた。そして、海洋の研究という活動もまた人間の生活の影響を受けると知った。国同士の情勢が影響をおよぼすこともあれば、学者同士の権力、覇権争いに活動が制限されることもあるという話は非常に印象に残っている。学問とは、世界共通で協力して行うものだと思っていたからだ。海洋学とは何か、そして海洋学を取り巻く環境を知った今、私が抱くのは、人間生活に密着しながら、そのために研究に不自由が生じる、複雑ながらより幅広く普及しなければならない学問というイメージである。(法学・男性)
- * 今回この海洋学の授業を受け、私たちが活用できる淡水量は非常に少なく河川にいたっては地球表層の水全体の0.00016%しかないことや海に捨てられた大量のプラスチックゴミによって多くの罪なき野生動物達が命を落としていること、プラスチックゴミだけではなく石油による海洋汚染、ウナギやマグロなどの水産資源の枯渇、そしてそれに伴う国内の漁業従事者数の減少など私たちがこれから目

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

を向けていかなければならない海についての問題がこんなにもあることを学んだ。正直に言うと最初は海洋学がどの様な学問なのか分からなかったが、今はこれから人類が深く考えなければならない学問の1つであると考えている (法学・男性)

- * 私は、深海の生物に興味があり、本講義を受講しました。海洋学というと、私たちの生活から遠く離れた分野で未知なものにあふれているというイメージを持っていました。講義を受講してみて、確かに未知の部分が多くあるある分野でありましたが、私たちの生活と密接していることも多い身近な分野であったという風イメージが変りました。例えば、台風や地震などの災害や、人間による海洋環境の破壊などは、人類が向き合い続けなければいけないテーマです。また、ウナギやマグロのように絶滅の危険が迫っている生物についての研究では、研究のために捕獲をしすぎてしまうなどの問題を知り、生物の研究というのはとても難しいものなんだと感じました。しかし、海洋学の研究は良くも悪くもこれからの世界を大きく変えることのできるものだと思ったので、今後の海洋学研究にもっと注目したいと思いました。(法学・男性)
- * 以前は海洋学と聞いても、自分とはあまり関係のないものだと思っていました。しかし、今回この講義を受けて、地球温暖化や台風の発生も海に関係していることが分かりました。また、未知の世界である深海やそこに住む深海魚の状況など、初めて知ることがたくさんあってとても興味深いものでした。現在海洋汚染が深刻化していることも知ったので、講義を受けることで海を大事にしたいと思う気持ちが以前より強くなりました。少しでも「海の理解者」に近づけたと思います。(法学・女性)
- * 本講義を受講して、海洋学という学問の扱う範囲が狭いイメージからとても広いイメージに変わった。最初は海流や海底の地形などだけを扱うと思っていたが、学習してみると、大航海時代の正確な時計の発明から、台風と海流の関係性や、様々なところにコリオリの力の影響が見られること、深海魚が生きていける理由、現在の海についての問題まで、本当に多岐に渡って海に関する知識や理解が必要だと分かった。私のイメージできた海の問題といえば、温暖化による海水面の上昇くらいであったが、乱獲やプラスチック片が生態系に影響を与えてしまっていることも知れた。学習する前までは海洋学は学者さんたちだけの関係するものだと思っていたが、今では私たち地球に住む人たちが関係すると思うようになった。海について正しい知識を持ち、海を大切に思う気持ちを持たないと、今のような海を子孫に見せられなくなる、という危機感ももてた。以上のように私は、この講義を通して海洋学は幅広い知識を扱うもので、その分自らの生活にも深く関わるものだと思うようになった。(法学・女性)
- * 海洋学に対して私が抱く観念は、本講義を受講する以前にあつてはすこぶる単純なもので、海洋学という位なのだから海の中の事を学ぶのだろうといった風であった。しかし本講義はそんな私の蒙を啓いたのである。私が海洋学に対し、今持つイメージは言うなれば、海洋学は地球学だというものだ。海洋学が扱うのは海に関する事のみならず、海洋によって引き起こされる気象現象、魚を食らう私たちの健康、温暖化現象でさえも海洋学により説明可能だということであり幅広くかつ奥深い物であ

海洋学とは？ (What is Oceanography?)

答え [海洋学は総合科学です：『はじめて学ぶ海洋学』](#)

り私は月並みな感想になるが、驚嘆したのだった。海はこの地球という孤独な天体の全てを支配している。私たちは海に母に持つのだ。海洋学とはいわば、私たちの母なる存在の全てを解き明かしてくれたのだ。(法学・男性)

- * 海洋学の一番初めのイメージは、研究者たちが、私たちが一生知る由もないようなマニアックな研究を進めている、あまり馴染みのない分野であるというものでした。深海魚は変わった見た目のものが多く、なんとなく面白そうだという理由でこの講義を選択しました。しかし学んでみると、海洋と私たちは非常に強固なつながりを持っており、当初のイメージしていたマニアックな内容より私たちの今後の生活に関わる内容がはるかに多いことが分かりました。資源の争いから政治分野につながるし、物理学や環境学にもつながる、膨大な内容を含んでいるということにも驚きました。うなぎや漁師減少の問題を知り、このように重大な問題を大学で知らなかったことにも驚きました。このままではこれまでの生活ができなくなる恐れもあることから、この分野はもっと広く学ばれるべきだと思います。(法学・女性)